



学校評価

学校の教育目標

「こころ豊かにたくましく、自ら学び続ける南っ子の育成」
～ 子供たちの未来を見据えた、自立して生きる力につながる教育の実践 ～

めざす児童像

よく考えてやりぬく子
＜確かな学力＞

素直でやさしい子
＜豊かな心＞

明るく元気な子
＜健やかな体＞

自己評価 《A：よくできている B：できている C：あまりできていない D：できていない》

重点目標	評価項目	達成状況		改善の方策
確かな学力を培う	・基礎的、基本的な学習内容の定着 ・思考力、判断力、表現力の育成 ・学びに向かう力の育成	B B B	B	・モジュールの時間運用をさらに充実させ、学力向上を図る ・引き続きICTを活用した授業実践を行う ・ICTを活用した漢字トレーニングを行い、学習意欲を高める
豊かな心を育てる	・人権、道徳教育の充実 ・内面理解に基づく生徒指導 ・特別活動の推進	B B B	B	・あいさつ、整理整頓は引き続き指導を行う ・低学年へのネットトラブル講座実施を検討 ・教科の横断的な学習を通して、人権教育を行う ・異学年との交流をさらに充実させる
健やかな体を養う	・体力づくりの推進 ・望ましい生活習慣の確立と健康教育の推進 ・安全防災教育の推進	B A B	B	・技能を高める運動やゲーム性を取り入れ、体力向上を図る ・食への関心を高める意味で、栄養教諭による定期的な巡回指導を引き続き行う ・防災教育推進のため、引き渡し訓練等を行う
特別支援教育の推進	・インクルーシブ教育の推進 ・個別の指導、支援計画に基づく指導 ・コーディネーターを中心とした組織的な支援	B A A	A	・児童の特性に応じた交流学級との連携を図る ・次年度への引き継ぎを行い、漏れのない指導体制を構築する ・会議での情報交換を通して、児童の特性に応じた支援体制をさらに強化する
教職員の資質向上	・研修による授業力、指導力向上 ・ICTの活用 ・コンプライアンスの順守 ・「チーム学校」づくり ・業務改善の推進	B B A B B	B	・ICTを活用するとともに、一人一授業を行うなど、個の授業力・指導力向上を図る ・職場研修を充実させ、コンプライアンスの順守を図る ・「報告、連絡、相談」の連携をさらに行う ・さらなる業務の見直しを図り、働きやすい職場づくりを目指す
家庭、地域との連携	・学校による情報発信（便り、HP等） ・PTA、支援ボランティア、地域人材を活用した開かれた学校づくり ・中学校区連携ユニットでの相互交流	B B B	B	・HP、スクリーン等を活用し、情報発信を行う ・地域の方とともに、さらに開かれた学校づくりを行う ・校区連携を図り、地域の活性化を目指す

学校関係者評価（自己評価に関する学校運営協議会からの意見、提言）

- ・ICT利用を進めるのに賛成。
- ・タブレットの使用は、使用することを目的にするのではなく、効果的なタイミングで使用するようにしてほしい。
例えば手書きの方が、学力が身につくものは、手書きで行うなど使用する内容を検討してほしい。
- ・ICTを使用しながらも、教師や児童同士の心が通い合う授業を行ってほしい。
- ・外遊びする児童が増え様々な遊びをすることで、身体の成長や怪我をしにくい体の動かし方がわかると思うので、特別活動などでの外遊びの機会をもつことを続けてほしい。
- ・給食についての工夫（栄養教諭の指導や、クリスマスなど）は子どもも喜んでいるので続けてほしい。
- ・放課後の活動でも活発に学年関係なく仲良く活動している姿が今でも見られてうれしい。
- ・あいさつなどしている子はしている。声かけを続けていくことが大切だと思う。
- ・習い事などで時間に追われている児童もいるので、校時表を変えることで安全な時間に児童が下校できるので賛成。
- ・児童アンケートで「困ったときに先生に相談しますか？」の項目が75%なのが気になる。
今まででもされていると思うが、困ったときは先生に相談できる環境を作り、児童を助ける存在になってほしい。
- ・教員が様々なことに気を配ってくれていることに感謝する。